

稲田和巳 潮

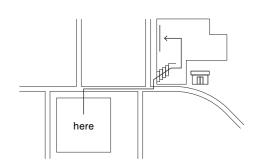
2.18 土 - 4.8 日, 2023 木金 12:00-18:00 土 12:00-19:00 月火水日祝 閉

現代芸術振興財団ギャラリー 東京都港区六本木 6-6-9 ピラミデビル4階

この度、現代芸術振興財団は稲田和巳個展「潮」を開催いたします。 稲田は、自身や身の回りの外界を計算機を用いて構造化し、観察することを 試みてきました。作品を制作するアーティストであると同時に、背後にある テクノロジーに携わるエンジニアとして活動することも特徴です。その作品 は、稲田が「観測装置」と形容するように、見るもの自身が主体的に読み解 き、我々の生きる世界への解釈を見出すことを促します。 本展では、シミュレーションシステムを構築し制作するメディアアート作品 の新作を展示します。

『潮』は、社会統計データから生成された仮想の地形を用いて、地理空間に 横たわる不可視な流れを考察しようとする取り組みです。異なる切り口で 社会を捉えたデータを統合して構築される地形は、多元的で流動を続ける 社会の姿を像として捉え、観察と発見の糸口を示します。

《潮》と同じく、データを通じて社会を観察する作品として、インターネット ユーザの活動からコミュニティの構造をシミュレートする過去作《Instant Sympathy》を展示します。



ラピロス六本木 ショーウィンドウ 会期中無休 本ビルを出て右、ファミリーマート手前の階段を上がって左

Kazumi INADA ushio

2.18 sat - 4.8 sat, 2023 thu & fri 12:00-18:00 sat 12:00-19:00 mon, tue, wed, sun & holiday close

Contemporary Art Foundation Gallery piramide bldg. 4f, 6-6-9, roppongi, minato-ku, tokyo

LEDビジョンに表示されている輝点はそれぞれがソーシャルネットワークの ユーザを表し、オンラインでの活動によってリアルタイムに出現します。輝 点の色は共通した行動や言葉の使用を、位置関係はそれぞれのユーザ間の 関係性を反映します。同時にオンラインであったユーザたちは、互いに共鳴

しながらも、刻々とその姿を変え続けます。

Instant Sympathy - Roppongi

コンセプト・システム:稲田和巳

ビジュアルデザイン: 岡本太玖斗

稲田和巳 Kazumi INADA 1997年、大阪府生まれ。2021年より筑波大学大学院に在籍。アーティスト として、主な活動に「亀山トリエンナーレ2022」(三重・2022)、「CAF賞

2021」(東京・2021)、「住人たち 再制作と展示」(茨城・2021)、「つくば メディアアートフェスティバル2021」(茨城・2021) など。その他の活動に 「中高生のための研究サポート動画」(ディレクション・2022)、「つくば SKIPアカデミープログラミング実習」(教材設計と講師・2022) など。

主催 公益財団法人現代芸術振興財団 グラフィックデザイン 岡本太玖斗 会場協力 Space roppongi 施工 HIGURE 17-15 cas /株式会社オール

各展示物は、場所に紐付けることができる社会統計データをそれぞれの地 点の「標高」とした、仮想の地形モデルを用いたものです。たとえば地価統 計のデータでは、統計が取られた地点ごとに、価格の相対的な高低を地形上 の高さに変換しています。得られたまばらな点の間を数理的に補完すること で、地形の「地面」ができます。

成し、その上に水や土砂を思わせる粒子を流すシミュレーションの様子を提 示します。経済・環境・情報など異なる切り口で社会を表すデータを複合 的に重ねるにつれ、地形は有機的で解像度の高いものとなり、自然の産物の ような複雑性が徐々に現れます。

制作にかかる数理的な処理はコンピュータアルゴリズムで実装されており、 地形・稜線・粒子の流れは、作家の主観的意思を介することなく生成され ています。鑑賞者の目に直接触れることこそありませんが、モデルを生み出し ているこれらのシステムこそが、《潮》のまさに主体であると言えます。

本展では複数のデータセットを地理的場所によって組み合わせて地形を生

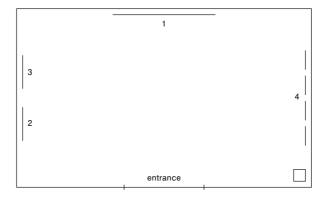
- ・ 等高線の間隔が狭い箇所は急な斜面を、広い箇所は緩やかな斜面を表し
- ・ 陰影起伏図は、立体の地形に北西 (315°、画面左上) の方向から平行光を 当てた様子を示します。光の方向に向いた面は明るく、逆方向に向いた面 は暗くなります。
- ・ 直感的には統計値の大きい地点をより高く設定しますが、本展においては 粒子が重力により統計値の大きい地点に集まるように、統計値の大きい地 点がより低くなるようにしています。



Instant Sympathy - Roppongi

Visual Design: Takuto Okamoto

Concept & Development : Kazumi Inada



- 1 湖 (六本木)
- 2 潮 (六本木) 標高地形図
- 3 潮(六本木)-陰影起伏図
- 4 潮 (六本木) データレイヤ

- 1 Ushio (Roppongi)
- 2 Ushio (Roppongi) Topographic Map
- 3 Ushio (Roppongi) Shaded Relief Map
- 4 Ushio (Roppongi) Data Layers

地形生成に使用したデータ(詳細は作品2,3,4下部に記載)

- [0] 基準地価(令和4年度)[円/m²]
- [1] 市区別昼間人口(2015年)[人]
- [2] 交通騒音 (2020年) [dB]
- [3] オンライン百科事典 Wikipedia 項目の日次閲覧数 (2023/01/18) [回]



テキストはこちらのウェブサイトでもご覧になれます。 https://gendai-art.org/caf/inada/#works



展示の作品には、国土地理院オルソ画像、国土交通省位置参照情報、 OpenStreetMapをはじめとするデータを加工して使用しました。また openFrameworks、Blenderをはじめとする、ユーザコミュニティにより維持 されているツールを利用し制作しました。誰もが情報を自由に利活用でき るオープンな社会への賛美を込め、これらのリソースの整備・開発に貢 献してきたみなさまに謝意を表します。